



環境経営レポート

2022年度

(対象期間：2022年3月1日～2023年2月28日)



本社・広島工場



創立50周年記念で植樹したヤマボウシに白い花が咲きました。花言葉は、「友情」です。

デリカウイング株式会社

作成日 2023年6月1日

改定日

目次

項目	ページ
代表者あいさつ	3
環境経営方針	4
組織の概要・事業案内	5～6
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7～8
全社の環境負荷の実績	9
環境経営目標及びその実績	10
各工場の活動内容	11～19
環境経営計画の取り組みと結果とその評価、次年度の計画	20～24
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	25～26
代表者による全体の評価と見直し・指示	27

代表者あいさつ



当社はコンビニエンスストアに並ぶ弁当、おむすび、惣菜、調理パン、デザートなどを製造、提供する事業を展開しております。

2022年度は、世界的な需要の増加やウクライナ侵攻による小麦、油脂などの原材料価格の高騰。原油価格の上昇による物流費、包装資材の値上がり。エネルギーコストの高騰。

電気、ガス料金は2021年度に比べ2022年度は1.5倍と大幅な増加。2023年度は電気料金見直しでさらなる増加が見込まれる。

このような状況下で環境への配慮も一層の広がりを見せ、企業経営においてもこれまでのESG（環境・社会・ガバナンス）に対する取り組みから、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成への取り組みが重要視されております。

当社は環境に対する課題解決への取り組みを真摯に実行していくことがステークホルダーの皆様からの信頼を得て、社会の継続的な発展と企業の持続可能な成長につながると考えます。

このようなことから企業としての責任を果たしていくためにもエコアクション21に積極的に取り組んでまいります。

代表取締役社長

河野 充志

環境経営方針

デリカウイング株式会社は経営理念である『HAPPY TOGETHER』（セブン-イレブンのお店様やお客様・仕入先や地域の方々までの幸せを実現する）を念頭に置き、すべての従業員が地球規模の環境保全に貢献する活動を展開、推進します。

地域とともに
HAPPY TOGETHER

環境経営方針

1. 環境負荷の低減

変化への対応と基本の徹底を基軸としA B C D運動を実施し、省エネルギー、原材料ロスの削減、食品廃棄物の削減を推進し、環境負荷の低減を続けます。

- A：「当たり前」のことを、
- B：「ビックリ」するほど、
- C：「ちゃんと」するのが、
- D：「デリカウイング」の仕事です！

2. 循環型社会の形成

食品廃棄物及びその他廃棄物のリサイクルに努め、循環型社会の形成に貢献します。

3. 環境への配慮

環境問題に対する意識の向上を図り、環境に配慮した機械設備や備品等の購入を推進します。

4. 法令順守

環境関連法規制等を遵守して環境保全活動に努めます。

5. 地域との共存

環境保全活動に積極的に取り組み、地域社会との良好なコミュニケーションを図ります。

「地産地消(笑)」は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取り組みです。

- ①地域で馴染みのあるメニューの開発
- ②地域で消費の高い原材料の取り組み
- ③地域で生産されている原材料メーカーとの取り組み



6. 社外公表・周知

環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境活動レポートを公開します。

2020年 3月 1日
デリカウイング株式会社 代表取締役社長 河野 充志

組織の概要・事業案内

(1) 事業者名及び代表者氏名

事業者名 デリカウイング株式会社

代表者氏名 代表取締役社長 河野 充志

創業 昭和46年11月（1971年）

資本金 1億円

(2) 所在地

本社・広島工場	広島県廿日市市宮内工業団地2-5
岩国工場	山口県岩国市田原266-3
デザート工場	広島県廿日市市宮内工業団地1-2
東広島工場	広島県東広島市吉川工業団地11-9

(3) 認証・登録の事業所、事業内容

対象事業所 本社・広島工場、岩国工場、デザート工場、東広島工場

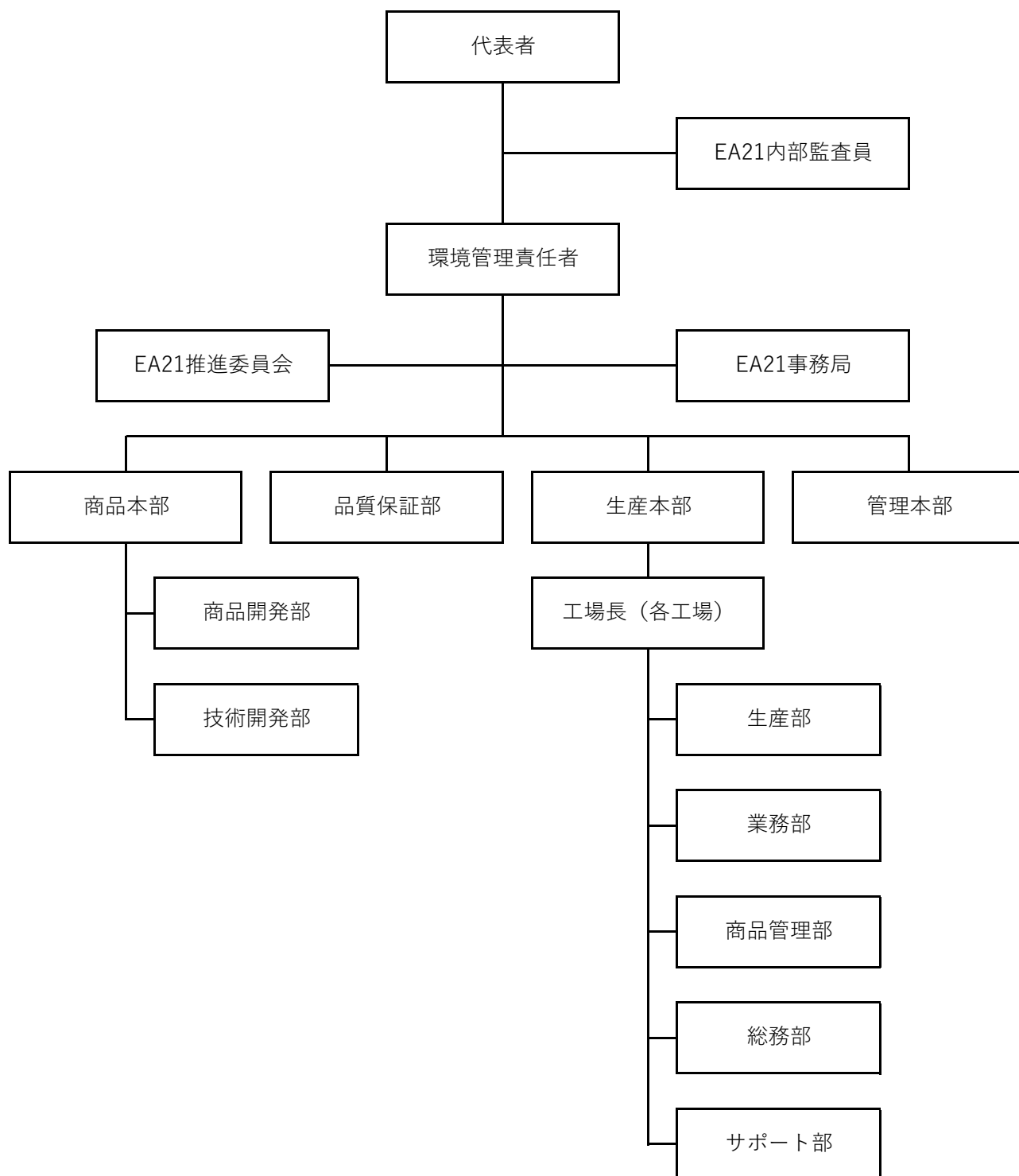
事業内容 コンビニ向け弁当、おむすび、調理パン、お好み焼き、
惣菜、軽食、デザート（洋菓子・和菓子）の商品開発及び製造

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	取締役副会長 管理本部長 河村 淳
事務局	管理本部 岡坂 和政
連絡先	電話 (0829)39-4411
	FAX (0829)39-4410
	E-mail honsya@dwing.co.jp
	ホームページ http://dwing.co.jp/

(5) 事業年度 2022年3月1日 ~ 2023年2月28日

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
E A 21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
E A 21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価 ・環境経営レポートの確認
各工場長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部（工場）における環境経営方針の周知 ・自部（工場）の社員、パートナーに対する教育訓練の実施 ・自部（工場）に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部（工場）に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部（工場）の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部（工場）の問題点の発見、是正、予防処置の実施
E A 21内部環境監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全社員・定時社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

全社の環境負荷の実績

項目	年度	単位	2019年度 基準年度	2022年度		2023年度 目標	2024年度 目標
				目標	実績		
二酸化炭素総排出量		t-CO ₂	18,274	16,551	16,968	14,180	14,075
食品廃棄物							
発生量		t	2,026	1,721	1,808	1,825	1,842
排出抑制量		t	0	0	0	0	0
再生利用量		t	2,026	1,721	1,808	1,825	1,842
熱回収量		t	0	0	0	0	0
減量量		t	0	0	0	0	0
再生利用以外の量		t	0	0	0	0	0
廃棄物処理量		t	0	0	0	0	0
食品再生利用等実施率		%	100	100	100	100	100
同上基準実施率		%	100	100	100	100	100
廃棄物排出量							
廃プラスチック		t	922	842	798	806	814
排水量		千m ³	371	373	378	383	387

電気のCO₂排出係数について

項目	年度	単位	2019年度 基準年度	2022年度		2023年度 目標	2024年度 目標
				目標	実績		
中国電力 調整後排出係数		t-CO ₂ /kWh	0.636	0.521	0.545	同左	同左

ガス燃料関係のCO₂排出係数について

項目	単位発熱量	C排出係数	CO ₂ 排出係数
都市ガス	45.0 GJ/千m ³	0.0136 t-C/GJ	2.24 t-CO ₂ /千m ³
L P ガス	50.8 GJ/千kg	0.0161 t-C/GJ	3.00 t-CO ₂ /千m ³
灯油	36.7 GJ/千ℓ	0.0185 t-C/GJ	2.49 t-CO ₂ /千m ³

※二酸化炭素はCO₂と化学式で記載しています。

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

環境経営目標及びその実績

項目	工場名	排出量・使用量						原単位（百万バック当り）					
		2019年度 基準年度	2022年度		基準年比	2023年度	2024年度	2019年度 基準年度	2022年度		基準年比	2023年度	2024年度
単位		百万バック/年			%	百万バック/年		トン-CO ₂ /百万バック			%	トン-CO ₂ /百万バック	
生産数量	全社	117.57	116.50	115.05	98	117.35	119.70						
	広島工場	46.75	41.70	41.77	89	42.61	43.46						
	岩国工場	23.17	21.30	19.50	84	19.89	20.29						
	デザート工場	34.92	36.60	33.40	96	34.07	34.75						
	東広島工場	12.73	16.90	20.38	160	20.79	21.21						
CO ₂ 排出量の削減	全社	18,274	16,551	16,968	93	<u>14,180</u>	<u>14,075</u>	155.43	143.50	147.48	95	<u>120.84</u>	<u>117.59</u>
	広島工場	6,415	5,876	5,791	90	<u>4,952</u>	<u>4,922</u>	137.22	140.92	138.64	101	<u>116.22</u>	<u>113.25</u>
	岩国工場	2,906	2,365	2,369	82	<u>1,983</u>	<u>1,969</u>	125.42	111.00	121.49	97	<u>99.70</u>	<u>97.04</u>
	デザート工場	3,012	2,671	2,683	89	<u>2,223</u>	<u>2,204</u>	86.25	72.96	80.33	93	<u>65.25</u>	<u>63.42</u>
	東広島工場	5,942	5,639	6,125	103	<u>5,022</u>	<u>4,980</u>	466.77	333.68	300.54	64	<u>241.56</u>	<u>234.79</u>
電気使用量の削減	全社	17,602	18,839	19,360	110	19,549	19,741	149.72	163.58	168.27	112	166.59	164.92
	広島工場	5,394	5,860	5,894	109	5,953	6,011	115.38	140.53	141.11	122	139.70	138.30
	岩国工場	2,815	2,732	2,678	95	2,704	2,731	121.49	128.27	137.33	113	135.96	134.60
	デザート工場	3,295	3,235	3,193	97	3,224	3,256	94.36	88.39	95.60	101	94.64	93.69
	東広島工場	6,098	7,012	7,595	125	7,670	7,747	479.03	414.94	372.67	78	368.94	365.25
都市ガス使用量の削減	3工場合計	1,776	1,804	1,698	96	1,714	1,731	18.81	18.77	17.77	95	17.59	17.41
	広島工場	449	435	393	88	397	401	9.60	10.42	9.41	98	9.32	9.23
	デザート工場	408	436	420	103	424	428	17.61	20.45	12.57	71	12.44	12.32
	東広島工場	919	933	885	96	894	903	26.32	25.48	43.42	165	42.99	42.56
LPガス使用量の削減	2工場合計	1,023	920	859	84	868	876	14.63	14.61	14.02	96	13.88	13.74
	広島工場	652	607	556	85	562	567	13.95	14.56	13.31	95	13.18	13.05
	岩国工場	371	313	303	82	306	309	16.01	14.71	15.54	97	15.38	15.23
食品廃棄物（産廃）の削減	全社	2,026	1,721	1,808	89	1,825	1,842	17.23	14.94	15.71	91	15.55	15.39
	広島工場	454	266	284	63	287	289	9.71	6.39	6.80	70	6.73	6.66
	岩国工場	596	493	436	73	440	445	25.72	23.15	22.36	87	22.14	21.92
	デザート工場	348	341	340	98	343	347	9.97	9.33	10.18	102	10.08	9.98
	東広島工場	628	621	749	119	756	764	49.33	36.74	36.75	75	36.38	36.02
廃プラスチック（産廃）の削減	全社	922	842	798	87	806	814	7.84	7.25	6.94	89	6.87	6.80
	広島工場	329	300	277	84	280	282	7.04	7.19	6.63	94	6.56	6.49
	岩国工場	193	165	148	77	149	151	8.33	7.73	7.59	91	7.51	7.43
	デザート工場	198	187	153	77	154	156	5.67	5.10	4.58	81	4.53	4.48
排水の削減	全社	371	373	378	102	383	387	3.16	3.25	3.29	104	3.26	3.23
	広島工場	109	106	105	96	106	107	2.33	2.54	2.51	108	2.48	2.46
	岩国工場	112	91	96	86	97	98	4.83	4.29	4.92	102	4.87	4.82
	デザート工場	35	33	31	89	31	32	1.00	0.90	0.93	93	0.92	0.91
	東広島工場	115	143	147	128	148	150	9.03	8.48	7.21	80	7.14	7.07

環境経営目標は原単位目標に基づいている。

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

広島工場の活動



敷地面積	10,378.44㎡	延床面積	7,391.06㎡
製造品目	弁当・おにぎり	生産能力	31万食／日
主要設備	炊飯ライン 60釜／時 2基		
従業員数	717名（2023年2月末時点）		



工場の主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2022年度		2023年度 目標	2024年度 目標	
			目標	実績			
生産数量	百万パック	46.75	41.70	41.77	42.61	43.46	
電気	使用量	千kWh	5,394	5,860	5,894	5,953	6,011
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	3,431	3,053	3,212	2,349	2,293
都市ガス	使用量	千㎡	449	435	393	397	401
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,007	976	882	891	900
LPガス	使用量	千kg	652	607	556	562	567
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,955	1,820	1,667	1,685	1,700
排水量	千㎡	109	106	105	106	107	
食品廃棄物	発生量	トン	454	266	284	287	289
食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100	100
プラスチック廃棄物	発生量	トン	329	300	277	280	282

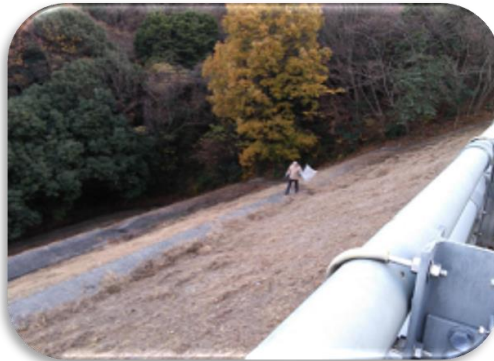
2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

広島工場の活動

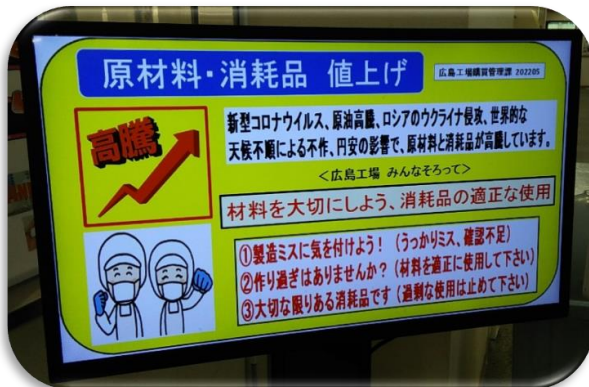
1. 工場周辺ボランティア清掃活動実施(1回/2ヶ月)

※法面の状況を確認しながら草刈り作業も年数回実施



回収したゴミは
分別して廃棄！

2. デジタルサイネージを使って情報共有(厚生棟廊下)



新商品の情報や小集団活動プロジェクトからの**ロス削減、返品、残渣情報**など従業員が行き交う廊下で**情報発信！**

3. ユーティリティをリアルタイムに見える化

蒸気供給口 ×10L/分	給水栓口 ×10L/分	事前計算 ×10L/分	0002給水口 ×10L/分	1107-1給水口 ×10L/分	野家給水 ×10L/分	廃水の処理 ×10L/分	3-4号風車 ×10L/分	1・2号風車 ×10L/分	魚出洗浄機 ×10L/分
27	307	307	307	307	307	307	307	307	307
...
...

従業員が集うラウンジ入口にディスプレイを設置。

生産設備の稼働状況
水、ガスの使用量を
リアルタイムで表示

広島工場 EA21事務局

広島工場の活動

1. 地元保育園さまとの交流会を開催しました。

当社は、地域貢献、地元へのボランティア活動を積極的に行っています。

国際色豊かな給食を提供されており、地元保育園の職員さん達に広島工場、岩国工場の商品開発部の料理人による調理技術指導を行いました。



技術指導



交流会参加のみなさま

SDGsの観点から、皮など物を捨てない料理を指導しました。



焼き茄子の胡麻クリーム煮
(鶏煮と夏野菜添え)



茄子の田舎煮
(オランダ煮)



地元保育園さまは、廿日市市で初の社会福祉法人として設立されており、国際プログラムでのグローバル教育を学べる日本初の認可保育園です。

地元コミュニティ放送局さまと地元保育園さま、当社のコラボ放送で情報発信を続けています。

広島工場 EA21事務局

岩国工場の活動



敷地面積	7,505.19㎡	延床面積	3,023.93㎡
製造品目	サンドイッチ・惣菜・軽食		
生産能力	12万食／日		
従業員数	396名（2023年2月末時点）		



工場の主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2022年度		2023年度 目標	2024年度 目標	
			目標	実績			
生産数量	百万パック	23.17	21.30	19.50	19.89	20.29	
電気	使用量	千kWh	2,815	2,732	2,678	2,704	2,731
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,790	1,423	1,460	1,065	1,042
LPガス	使用量	千kg	371	313	303	306	309
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,113	939	909	918	927
排水量	千㎡	112	91	96	97	98	
食品廃棄物	発生量	トン	596	493	436	440	445
食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100	100
プラスチック廃棄物	発生量	トン	193	165	148	149	151

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

緊急事態想定訓練 (岩国工場)

緊急時の想定 : 火災の発生	
実施日 : 2022年11月30日	実施場所 : 岩国工場内
参加者 : 岩国工場従業員 (昼・夜)	実施内容 : 避難訓練
訓練内容 : 加熱調理室ジェットオープンから 出火想定、コロナ禍で分散実施	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
評価 コロナ禍の為、避難時の注意事項及び避難経路確認説明	

①避難経路確認



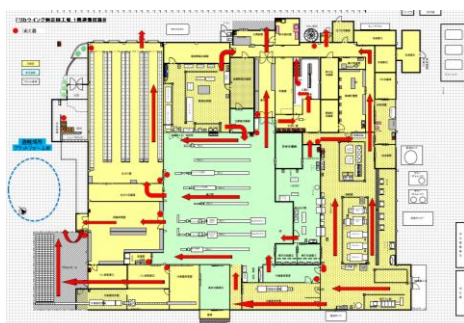
②点呼・講評



③避難経路図の見直し

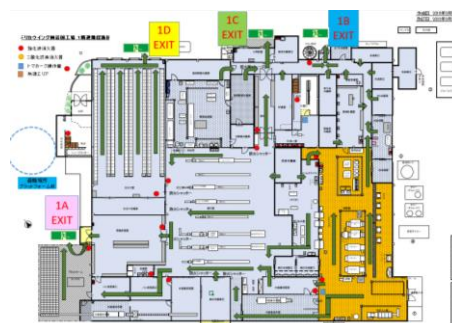
(1)見直し前

- ・避難口が分かりにくかった



(2)見直し後

- ・避難する行先を記号で表示
- ・具体的な避難経路を矢印で記載



コロナ化での避難訓練。放水訓練等できていない為、2023年は実訓練を再開します。
避難経路図も働く方にわかる形に、随時修正していきます。

岩国工場 EA21事務局

デザート工場の活動



敷地面積	8,647.49㎡	延床面積	6,851㎡
製造品目	洋菓子・和菓子	生産能力	20万食／日
主要設備	シューライン 2,000個／時		
従業員数	461名（2023年2月末時点）		



工場の主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2022年度		2023年度 目標	2024年度 目標	
			目標	実績			
生産数量	百万パック	34.92	36.60	33.40	34.07	34.75	
電気	使用量	千kWh	3,295	3,235	3,193	3,224	3,256
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,096	1,685	1,740	1,270	1,242
都市ガス	使用量	千㎡	408	436	420	424	428
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	916	978	942	951	960
排水量	千㎡	35	33	31	31	32	
食品廃棄物	発生量	トン	348	341	340	343	347
食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100	100
プラスチック廃棄物	発生量	トン	198	187	153	154	156

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

デザート工場 プラスチック排出量削減活動

1. 器具洗浄機の洗剤容器のリサイクルの実施

(1)改善前

洗剤の入った20ℓポリタンクは洗剤を使用したら廃プラとして産業廃棄物として廃棄していました。

(2)改善後

洗剤の購入先を変えて、使用済みの20ℓポリタンクは洗剤納入事業者が回収してリサイクルする仕組みに改善した。

洗剤の使用場所



使用済みの置き場



10個使用したら回収

2. 2022年度に工場を増築した部分の照明をの間引き点灯の実施（省エネ）



資材庫（48㎡）にLED照明が12本あり、そのうち2本を間引き作業することにした。

【予想効果】

電力量削減量 0.175千kWh

CO₂削減量 0.1t-CO₂

※中国電力 調整後排出係数0.545t-CO₂/千kWh

デザート工場 EA21事務局

東広島工場の活動



敷地面積 16,502.58㎡ 延床面積 7,229.02㎡

製造品目 お好み焼き・軽食・惣菜・チルド弁当・サラダ

生産能力 12万食/日

従業員数 417名（2023年2月末時点）



工場の主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年度 基準年度	2022年度		2023年度 目標	2024年度 目標	
			目標	実績			
生産数量	百万パック	12.73	16.90	20.38	20.79	21.21	
電気	使用量	千kWh	6,098	7,012	7,595	7,670	7,747
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	3,878	3,653	4,139	3,016	2,955
都市ガス	使用量	千m ³	919	933	885	894	903
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,062	2,094	1,986	2,006	2,026
排水量	千m ³	115	143	147	148	150	
食品廃棄物	発生量	トン	628	621	749	756	764
食品廃棄物リサイクル	リサイクル率	%	100	100	100	100	100
プラスチック廃棄物	発生量	トン	202	190	220	222	224

2023年4月から電気使用量の30%はカーボンフリー（再生可能エネルギー発電所（水力・太陽光・バイオマス）電力）となります。

※カーボンフリーとは、CO₂を含む温室効果ガスを全く排出しないことです。

1. 省エネルギー活動

従業員に使用している光熱費（電気・都市ガス・水）に対し更に興味を持って頂くために、グラフ表示と併せて一日の使用量と金額も掲示。



月別・1日の使用量

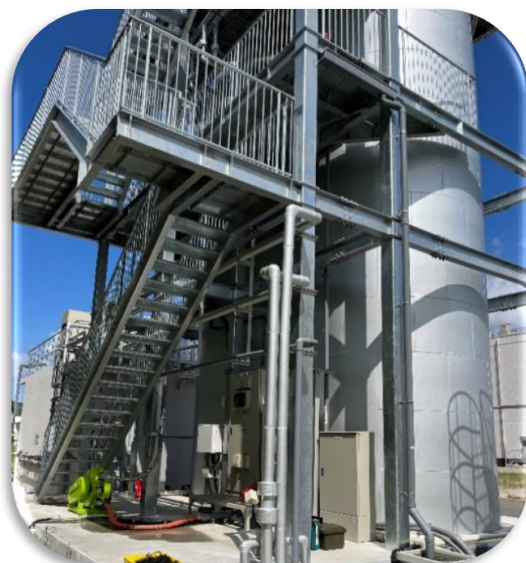
2. 「地域」への思いを大切に、工場周辺の清掃活動

会社の周囲の環境美化、及び地域貢献活動として、2021年7月よりスタート。2022年度は天候により決行できないこともあり、清掃活動は7回となりました。回収したごみは約95kgで、分別して廃棄致しました。

3. 動植物性残渣の排出ゼロ化のためのバイオマス処理施設が完成し稼働

工場が発生する動植物性残渣をメタン発酵により処理し、残渣の工場外への排出をゼロにして、焼却処分の削減やCO₂削減に貢献します。

この取り組みは、広島県の「令和3年度 広島県廃棄物排出抑制・リサイクル施設整備費補助金」に公募・採択された事業です。



【2022年6月初旬～稼働】

2023年2月末現在で累計

動植物性残渣処理量 560トン

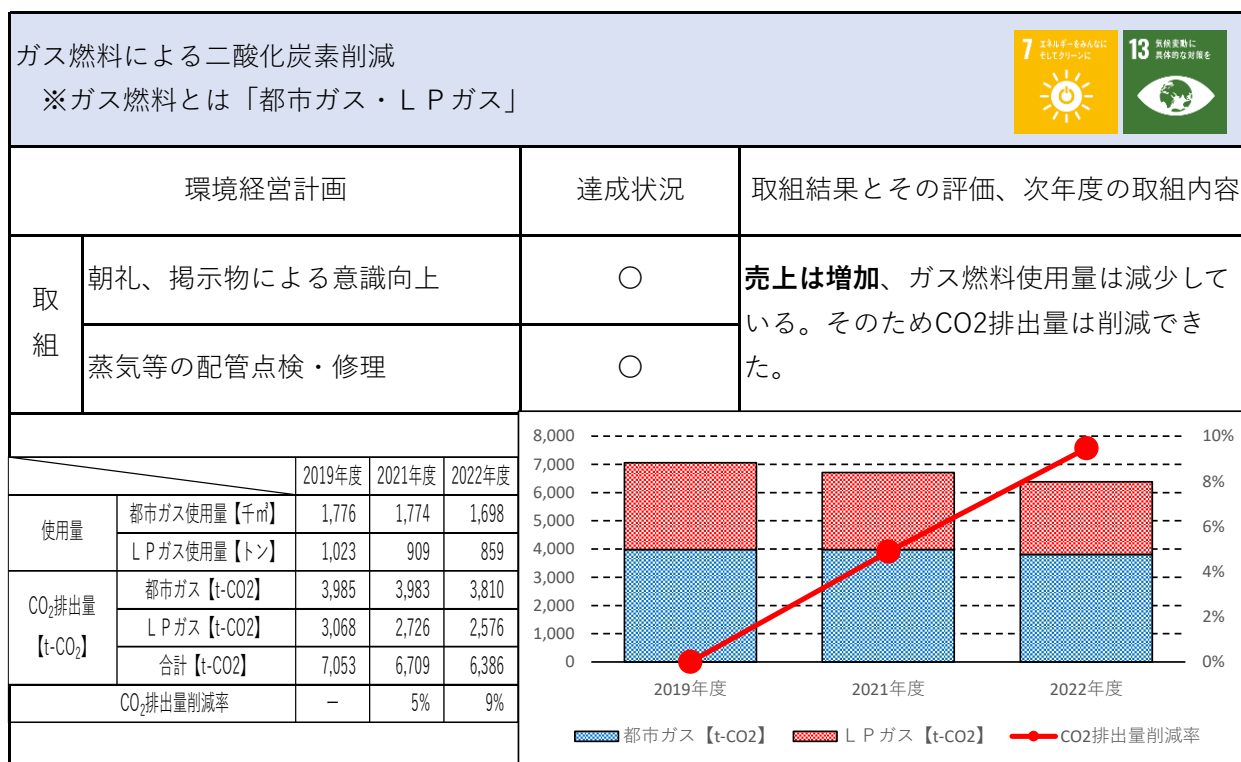
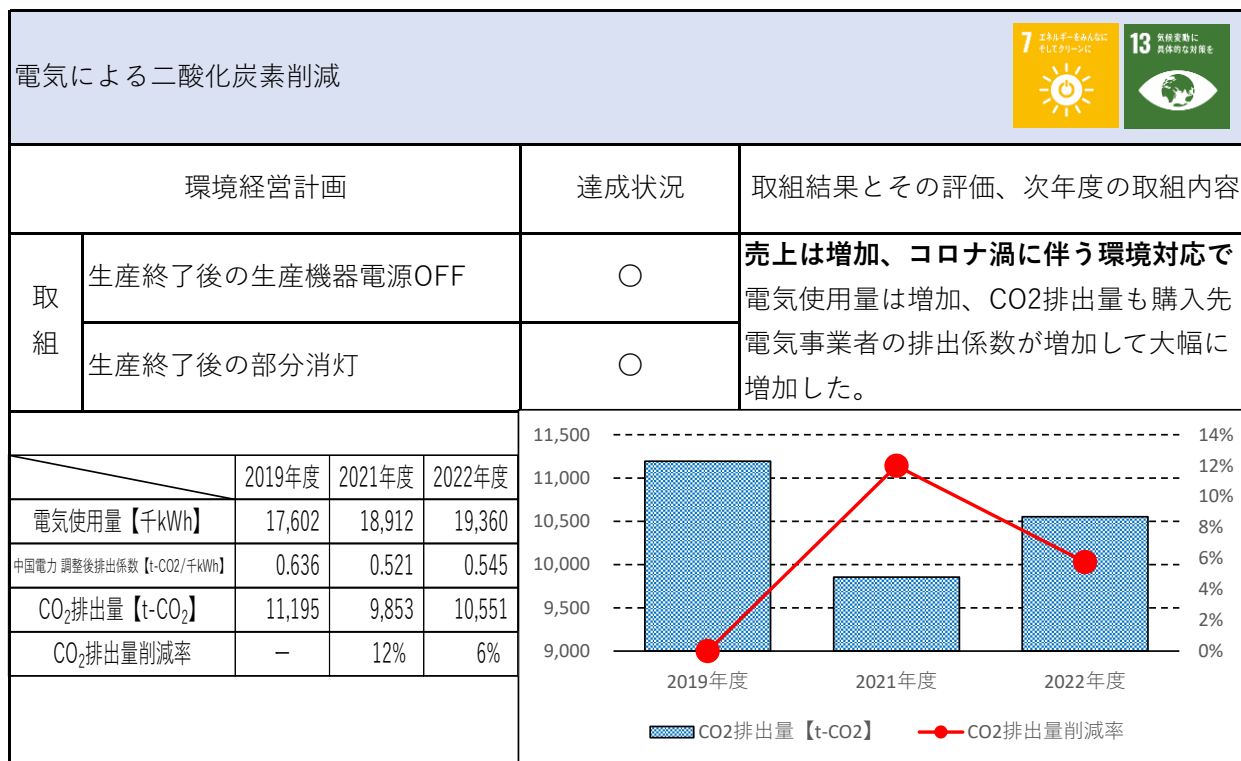
発電量 181千kWh

CO₂削減量 99t-CO₂

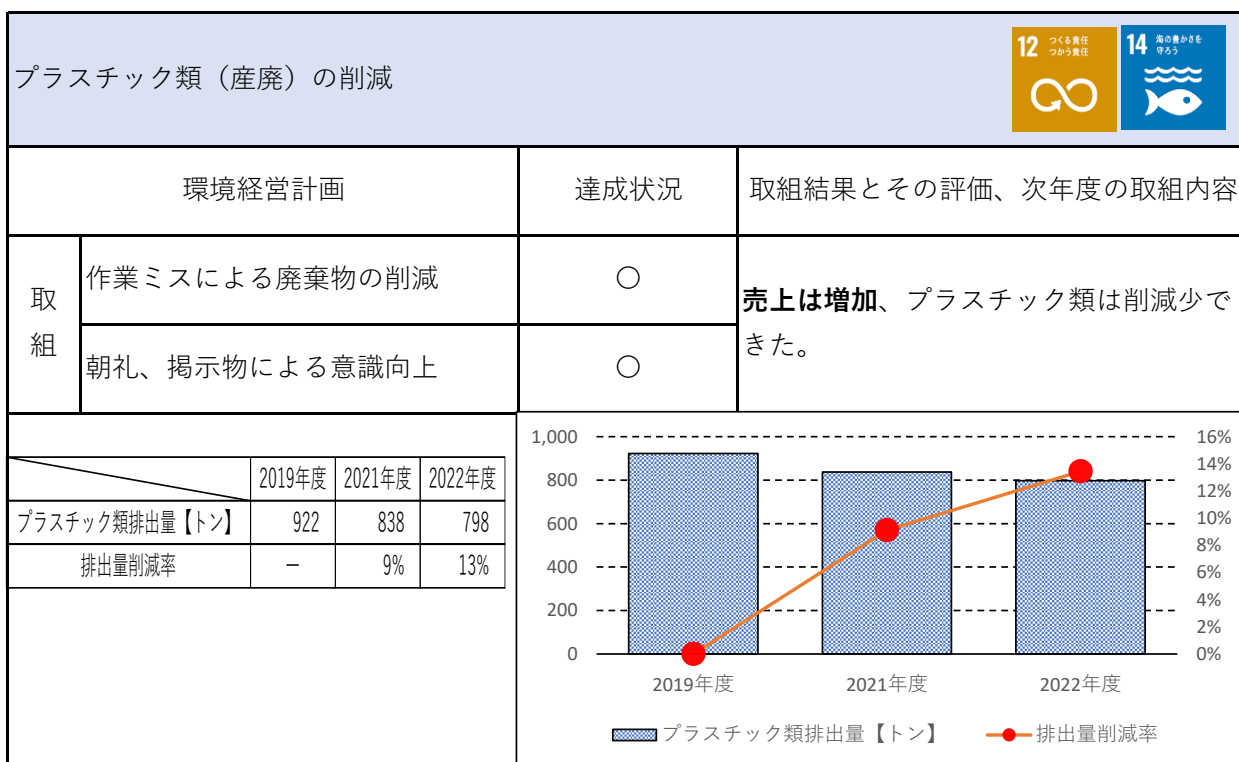
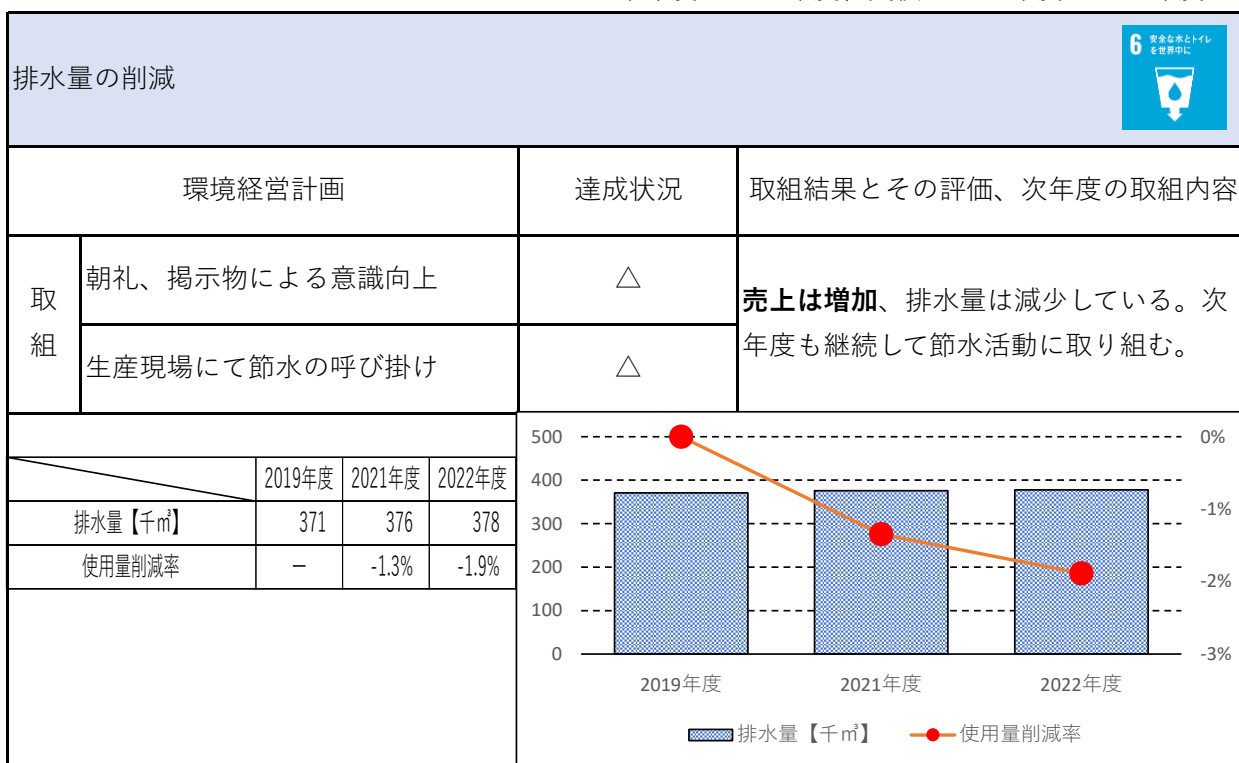
※中国電力 調整後排出係数0.545t-CO₂/千kWh

環境経営計画の取り組みと結果とその評価、次年度の計画

※基準年度：2019年度、実績：2021年度・2022年度



※基準年度：2019年度、実績：2021年度・2022年度






※基準年度：2019年度、実績：2021年度・2022年度

食品廃棄物（産廃）の削減															
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容												
取組	作業ミスによる廃棄物の削減	○	生産数量の増加、食品廃棄物は昨年度より増加した。												
	朝礼、掲示物による意識向上	○													
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品廃棄物排出量【トン】</td> <td>2,026</td> <td>1,727</td> <td>1,808</td> </tr> <tr> <td>排出量削減率</td> <td>-</td> <td>15%</td> <td>11%</td> </tr> </tbody> </table>		2019年度	2021年度	2022年度	食品廃棄物排出量【トン】	2,026	1,727	1,808	排出量削減率	-	15%	11%
	2019年度	2021年度	2022年度												
食品廃棄物排出量【トン】	2,026	1,727	1,808												
排出量削減率	-	15%	11%												


洗剤等（化学物質）使用量の削減			
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	適正使用量の厳守	○	次年度も継続して使用量の把握、適正使用を継続する。
	安全で安心な商品の提供	○	





※基準年度：2019年度、実績：2021年度・2022年度

製品の環境への取組			12 つくる責任 つかう責任 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	消費期限延長	○	次年度も取組み内容を把握をして、改善を継続する。
	容器包材のプラスチック削減	○	

環境に配慮した物品の購入			12 つくる責任 つかう責任  15 陸の豊かさも 守ろう 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	省エネ性能の高い設備の導入	○	次年度も設備検討時に省エネ性能の判断ができる仕組み作りを継続して進める。

※基準年度：2019年度、実績：2021年度・2022年度

環境に配慮した生産活動			12 つくる責任 つかう責任 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
取組	ご指摘（お客様からのお申し出）の削減	○	次年度も取組み内容を把握をして、改善を継続する。
	良品製造	○	

社会貢献活動			3 すべての人に 健康と福祉を 	4 質の高い教育を みんなに 	5 ジェンダー平等を 実現しよう 	17 パートナシップで 目標を達成しよう 
環境経営計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容			
取組	工場周辺の清掃活動	○	工場周辺の清掃活動を継続、次年度も活動を継続する。			
<p>地元保育園の職員さん達と調理交流会を開催、SDGsの観点から、皮など物を捨てない料理を広島工場、岩国工場の商品開発部の料理人が調理技術指導を行いました。</p>						

**環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反・訴訟等の有無**

関連する法規・確認事項

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物の収集・運搬（契約書・許可証、保管状況等） 産業廃棄物の収集・運搬、処分（契約書・許可証、保管状況等） 看板の設置（設置状況、記載内容、連絡先明記等） マニフェスト伝票の記載漏れ、保管状況 処分場の現地確認 産業廃棄物管理票の交付等状況報告の作成・提出（6月30日まで） 多量排出事業者の処理計画等の報告の作成・提出（6月30日まで）
食品リサイクル法	定期報告書の作成、提出
騒音規制法	ブロアー、圧縮機、送風機等の設置届出
振動規制法	ブロアー、圧縮機、送風機等の設置届出
水質汚濁法	特定施設設置届出 排水水質濃度測定記録
下水道法	使用開始届出 除害施設設置届出
浄化槽法	設置・変更の届出 保守点検、清掃、記録の保管（3年間） 定期検査（指定検査機関の検査）
消防法（危険物）	消防設備点検表 各届出 避難訓練の実施、記録（年1回以上）
毒物及び劇物取締法	保管場所での施錠、安全データシート(SDS)の保管
フロン排出抑制法	点検、整備記録（有資格者による定期点検） 点検、整備記録（簡易点検） フロン引取、回収証明書 算定漏洩量の報告
省エネ法	エネルギー管理士・員の選任、届出 エネルギー管理標準の作成・保管 定期報告書の作成・提出（7月31日まで）
温暖化対策推進法	対策計画書の作成・提出 実績報告書の作成・提出（7月31日まで）

本社・各工場確認結果

適用される法規制	本社・広島工場	岩国工場	デザート工場	東広島工場
廃棄物処理法	○	○	○	○
食品リサイクル法	○	○	○	○
騒音規制法	○	○	○	○
振動規制法	○	○	○	○
水質汚濁法	○	○	○	○
下水道法	○	—	○	○
浄化槽法	—	○	—	—
消防法（危険物）	○	○	○	○
毒物及び劇物取締法	○	○	○	○
フロン排出抑制法	○	○	○	○
省エネ法	○	○	○	○
温暖化対策推進法	○	○	○	○

令和4年度は法律違反・訴訟等はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2023年4月10日

当社はこれまで環境問題に対する取り組みとして、省エネルギー活動、フードロス削減、廃棄物リサイクルなどを行ってまいりました。これらの活動をより具体的にかつ継続的に取り組むため、工場単位ごとにエコアクション21推進委員会や各種改善プロジェクトで計画・実行・評価・改善を繰り返しました。成果がでている項目もありますが、残念ながら数値が悪化している項目もありました。また自社努力だけでは改善効率が低い項目もあります。

このような現状を把握した上で、次年度に対する目標数値を設定し、全社一丸となって共通認識のもと目標達成にむけて努力してまいり所存です。

本活動を通し、従業員一人一人が環境に対する問題意識を持ち、行動すること。企業としては継続的に成長のために責任を果たすこと。これらが社会の持続的な発展とステークホルダーの皆様の成長につながると考えております。

環境経営方針の変更はありません。



デリカウイング株式会社